

数理解析研究所講究録 1019

数学史の研究

京都大学数理解析研究所

1997年11月

数学史の研究
Study of the History of Mathematics
研究集会報告集

1997年 5月12日～ 5月13日

研究代表者 竹之内 脩(Osamu Takenouchi)

目 次

1. カントルの集合論の哲学的側面 —故下村寅太郎先生を偲んで— -----1	
	村田 全(Tamotsu Murata)
2. ギリシア比例論の適用について-----23	
	津田塾大 杉浦 光夫(Mitsuo Sugiura)
3. 古典関数解析と確率解析-----30	
	名城大・理工 飛田 武幸(Takeyuki Hida)
4. 古典確率論の歴史の諸問題-----40	
	桃山学院大・経済 安藤 洋美(Hiromi Andoh)
5. 関孝和の括要算法における自然数の累乗和について-----61	
	大阪国際大 竹之内 脩(Osamu Takenouchi)
6. 数学者人名辞典のデータベースについて-----70	
	大阪産業大 田村 三郎(Saburo Tamura)
7. 円理の萌芽 —建部賢弘の円周率計算— -----77	
	四日市大・経済 小川 東(Tsukane Ogawa)
8. 不変式論の歴史のひとつま —ALFREDO CAPELLI について— -----98	
	京大・理 梅田 亨(Tôru Umeda)
9. 数学通史についての私見-----120	
	吉沢 尚明(Hisaaki Yoshizawa)